

北海道林木育種場旧庁舎 保存活用事業計画書



株式会社珈房サッポロ珈琲館

①事業計画概要説明

現在、サッポロ珈琲館 本店は旧北海道工業試験場 第2庁舎（昭和20年代建築）であった建物を再利用し、カフェスペースのほか、ギャラリースペース等も有し、平成元年のオープン以来多くの市民がコミュニティーの場としてご利用いただいている実績がございます。

文化庁登録文化財でもある当建物も同じように、北海道林木育種場旧庁舎であったその歴史がいつまでも感じられるよう、建物の趣き、重厚感を活かし、多くの市民がコミュニティーの場として集えるよう活用・保存をいたします。

【使用目的とその内容、規模、市民等の利用機会確保について】

エントランス

建物外観（入口正面）の良さを最大限活かす為、正面には駐車スペースを設けずレンガをふんだんに使用し、赤い屋根と赤いテントが印象的な外観。
入口には車椅子用のスロープを設けバリアフリーに対応します。
また夏にはテラス席も設置し、緑豊かな自然を感じながら市民の方々が休憩している様子をイメージしています。

1階

サッポロ珈琲館のカフェ・売店スペースのほか、コミュニケーションスペースとしてコーヒー生産地をテーマにした異なる2つの多目的室を設置。
カフェのイートインスペースとしてご利用できるほか、カルチャー教室等のイベント

スペースとしても利用できるようにします。
更に廊下スペースを市民の方々がご利用いただけるギャラリースペースとして貸出しをし活用していきます。

トイレは各男女別、洋式タイプに変更をし、身障者用や授乳室も新設することで幅広い市民の方々のご利用いただけるようにします。

カフェ以外のエリアでは、事務所、食品庫、焙煎室を設け、サッポロ珈琲館の本社機能としても利用いたします。

2 階

改築費用や管理の都合上、当面は2階の利用はせず、利用者も行けないようにいたします。（※物品の倉庫として一部使用する可能性あり）

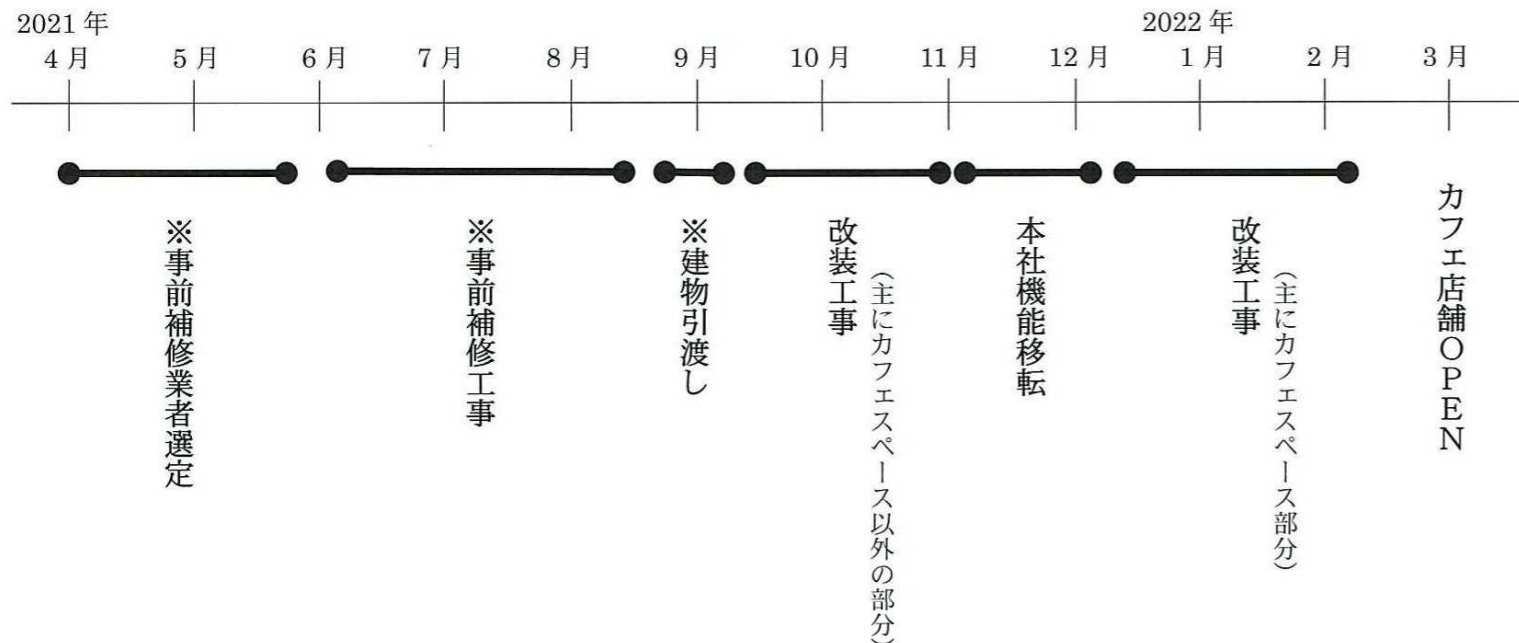
ただ、長年使用をしないまましていると建物の劣化促進にもなりますので、将来的には2階スペースにおいても市民の方々が活用できるコミュニティの場として考えていきます。

（案）江別市内にある4大学と市民の交流センターとして活用。

～各大学のサテライト的機能を有することにより、市民大学や研究発表の場として活用できれば1階カフェとの相乗効果を生み出すこともできると考えます。

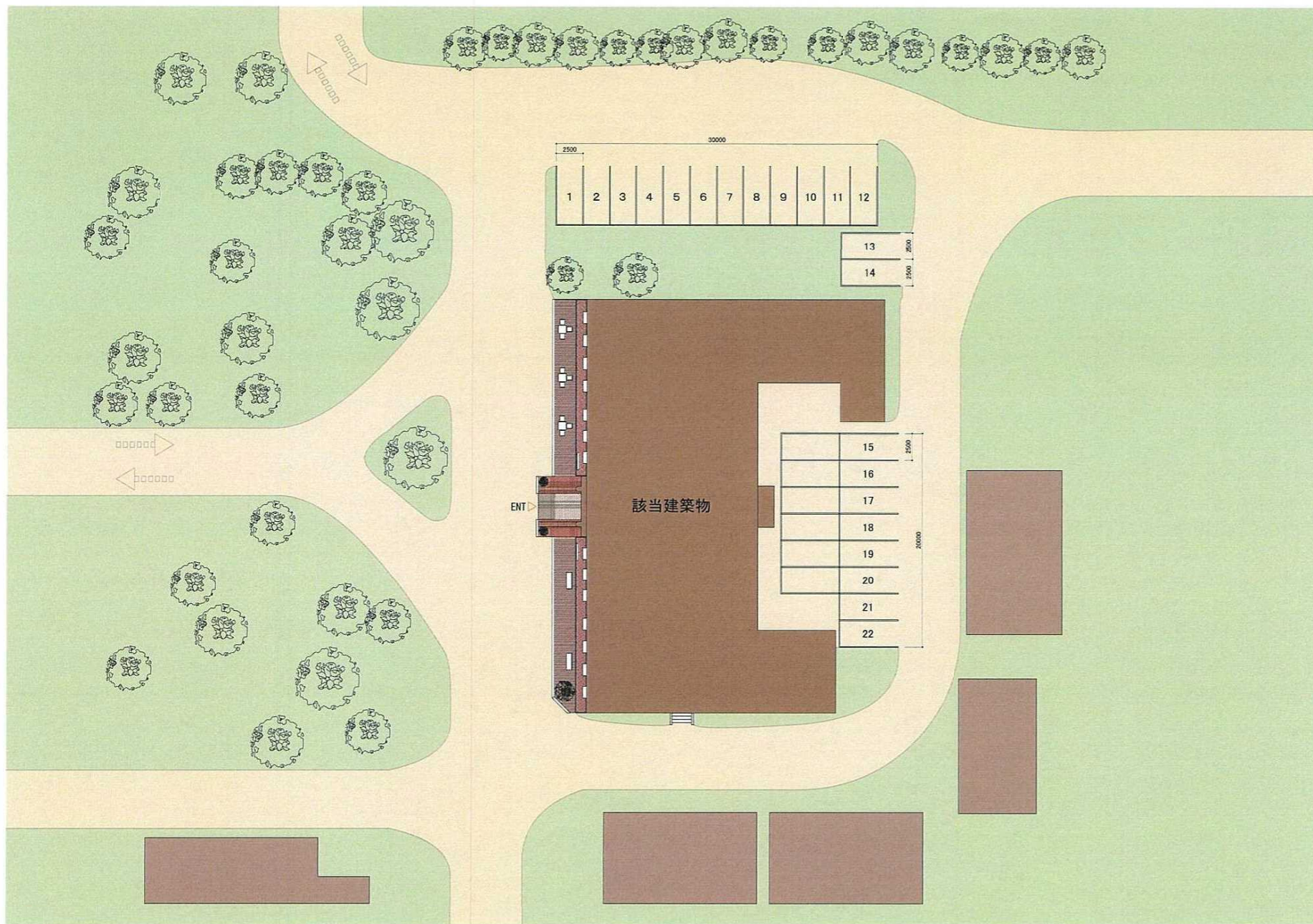
【管理方法、スケジュールに関して】

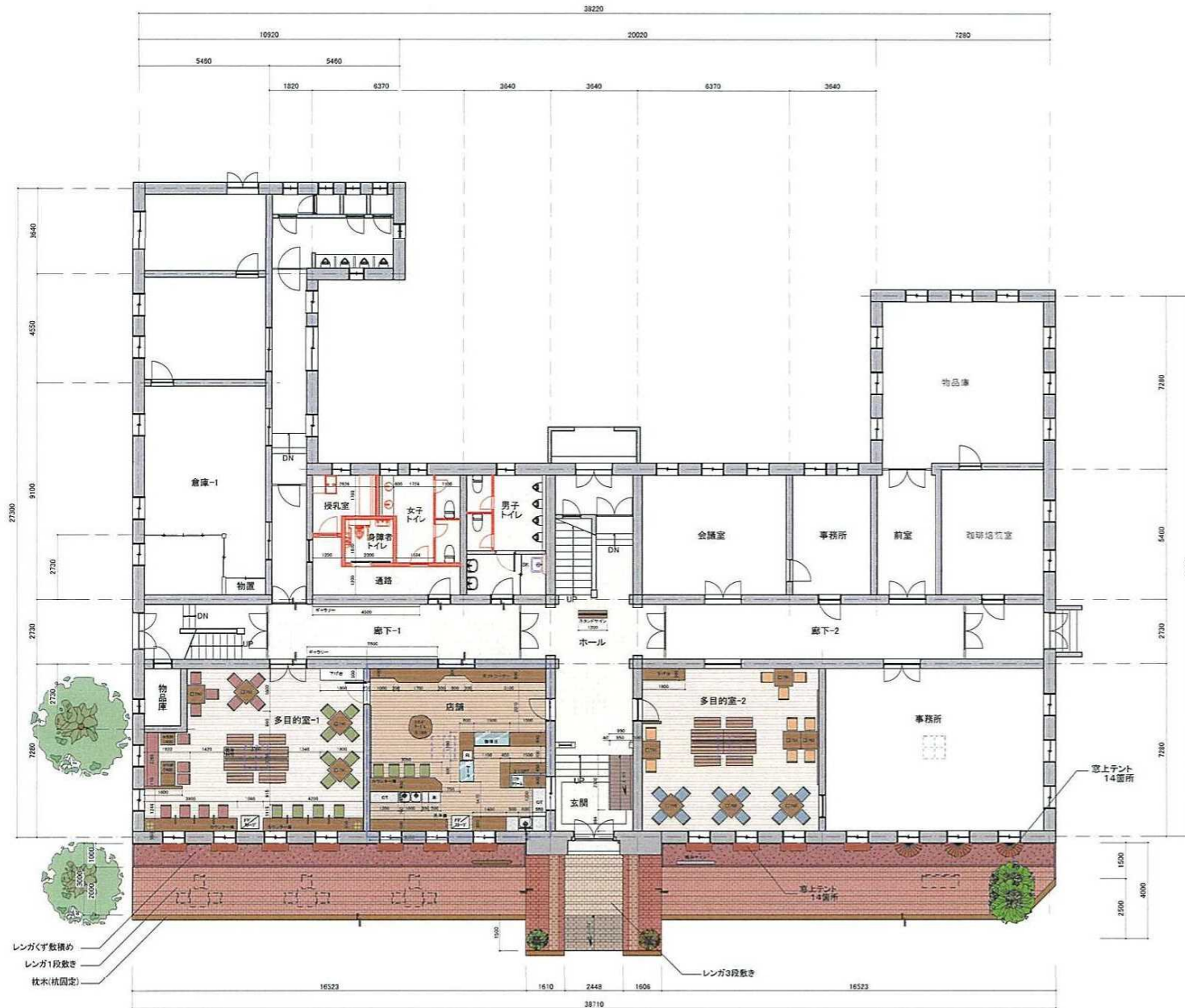
- ・ 建物の管理に関しましては、株式会社珈房サッポロ珈琲館の本社としての利用もあることから、全て自社で管理してまいります。
- ・ スケジュール（改装～店舗OPENまで）
※のついた部分を想定して以下の通りスケジュールを予定しています。
2021 年中に本社機能に移転させ、翌年の雪解けを待ってからカフェ店舗のOPEN
をしていきたいと思ひます。

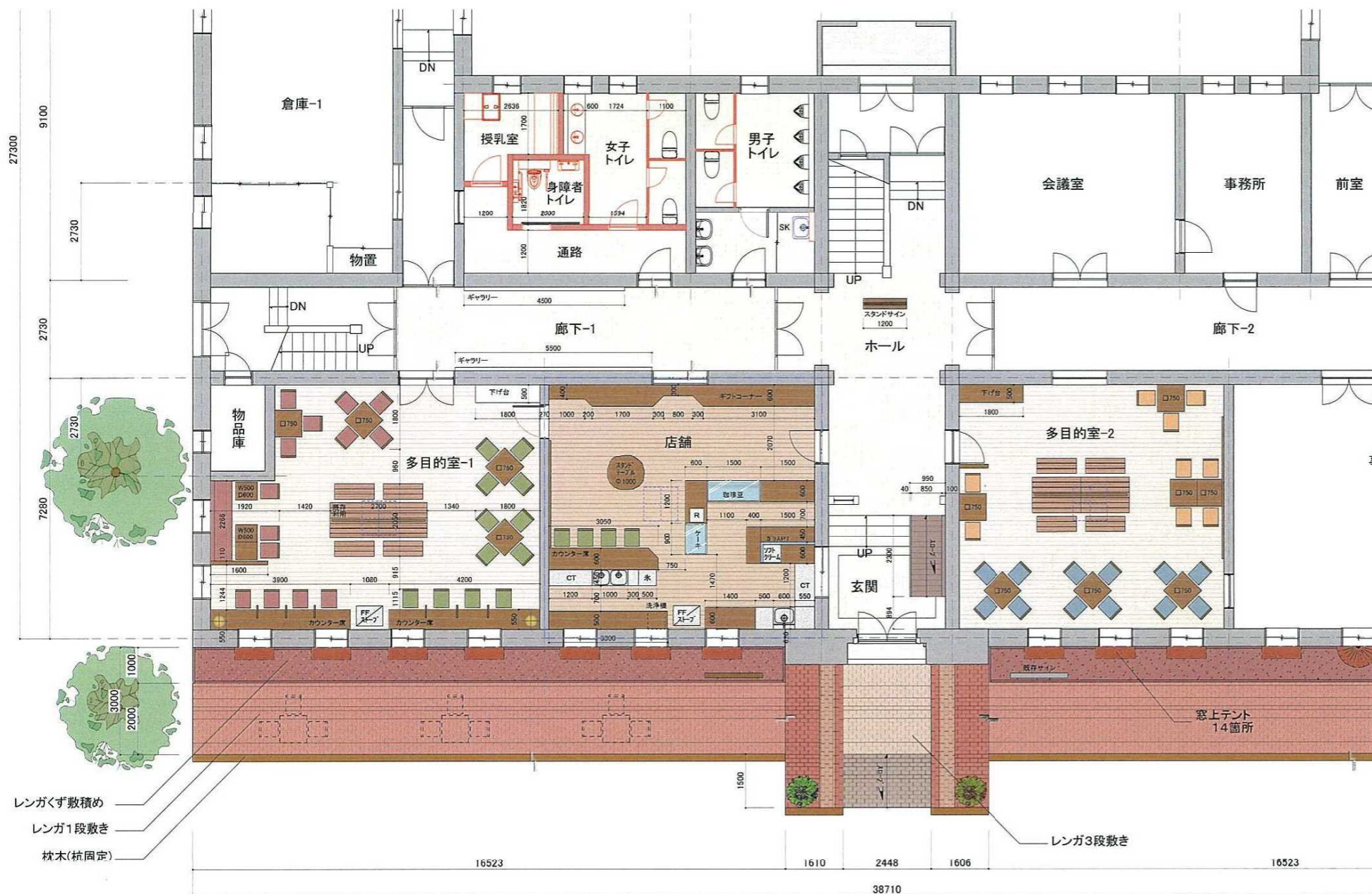


②改修計画書









店舗内観イメージ



店舗内観イメージ







廊下-1 (回廊ギャラリー)

